

●ご存じですか？障害に関係したマーク（ピクトグラム）

シンボルマーク	シンボルマーク名称 [関係団体]	マークの意味
	障害者のためのシンボルマーク(国際マーク) [(財)日本障害者リハビリテーション協会]	このマークは、国際リハビリテーション協会(RI)が定めた世界共通の国際シンボルマークです。すべての障害者を対象に、障害のあるかたが利用できる建築物や公共輸送機関であることを示しています。個人の車に表示することは、国際シンボルマーク本来の主旨とは異なるため、障害のある方が車に乗りしていることを周囲にお知らせする程度の表示になります。
	視覚障害者シンボルマーク(国際マーク) [世界盲人連合]	このマークは、世界盲人連合(WBU)が定めた世界共通の国際シンボルマークです。このマークを手紙や雑誌の冒頭に、あるいは歩行用に自由に使用してよい。色はすべて青にしなければならない。とされています。
	耳マーク(聴覚障害) [(社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会]	このマークは、聞こえない方の存在と立場を社会一般に認知してもらい、コミュニケーションの配慮などの理解を求めていくためのシンボルマークです。聴覚障害者は見た目には分からないために、誤解されたり、不利益になったりなど社会生活上で不安が少なくありません。耳の不自由な方と話すときは「はっきりと口元を見せて話す」「筆談をする」などのご理解とご配慮をお願いします。
	オストメイトマーク [(社)日本オストミー協会]	このマークは、オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)の方が、ストーマ用装具の交換・装着、排泄物の処理等ができる設備があることを表しています。オストメイト対応トイレの入口・案内誘導プレート等に使用されています。
	身体障害者標識 [各警察署交通課・県交通安全協会]	このマークは、道路交通法施行規則で定められています。肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている運転者は、普通自動車を運転する場合に、その肢体不自由が普通自動車の運転に影響を及ぼすおそれのあるときは、身体障害者標識を表示して普通自動車を運転するように努めなければならないこととされました。他の自動車の運転者は、この身体障害者標識を付けている自動車に対する幅寄せや割込が禁止されます。
	ハートプラスマーク(内部障害) [内部障害・内部疾患の暮らしについて考えるハート・プラスの会]	このマークは、身体内部に障害がある方を表現しています。身体内部の障害をお持ちの方は見た目では分りにくいため、車いすマークのついた駐車場使用など様々な誤解を受けることがあります。このマークを見かけたら、内部障害についてご理解とご配慮をお願いします。
	ほじょ犬マーク [厚生労働省社会・援護局]	このマークは、身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)同伴の啓発のためのマークです。身体障害者補助犬法が施行され、現在では公共の施設や交通機関はもちろん、デパートやスーパー、ホテル、レストランなどの民間施設でも身体障害者補助犬が同伴できるようになりました。補助犬はペットではありません。体の不自由な方、体の一部となって働いています。また、社会のマナーも訓練され、衛生面でもしっかりと管理されています。お店の入口などでこのマークを見かけたり、補助犬を連れていらっしゃる方を見かけた場合は、ご理解とご配慮をお願いします。
	聴覚障害者標識 [各警察署交通課・県交通安全協会]	聴覚に障害のある方が第一種運転免許及び仮免許を取得する場合、適性試験での聴力基準は「補聴器により補われた聴力を含み、10メートルの距離で90デシベルの警音器の音が聞こえる。」とされていますが、聴覚に障害のある方は、改正道路交通法の施行(平成20年6月)で、「ワイドミラーを車室内に装着」「自動車の前面及び後面に「聴覚障害者標識」を付ける」「運転できる自動車は、専ら人を運搬する構造の普通自動車」等の条件の下で、運転免許を取得できるようになりました。他の自動車の運転手はこの聴覚障害者標識を付けている自動車に対する幅寄せや割込はせず、聴覚に障害のある人はクラクション等の音が聞こえにくいことにご理解とご配慮をお願いします。
	ヘルプマーク [東京都、長野県他]	義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。平成24年に東京都が作成し、平成29年7月にはJIS規格に追加され、全国に普及が進んでいます。身に付けた方を見かけた場合は、電車やバス内で席を譲るなど、思いやりのある行動をお願いします。

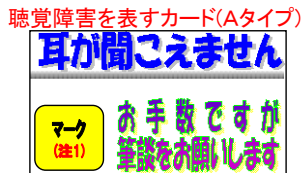
障害とは違いますが、他にも妊婦、子ども、高齢の人を表すマーク(ピクトグラム)などもあります。これらのマークは国や言葉に関係なく、みんながわかりやすいように考えられてデザインされているものがほとんどで、見ると「なるほどね」と思うものばかりです。

外出時には、街の中にどんなマークがあるか探してみませんか？

●内部障害者または聴覚障害者であることを表す名刺サイズのカードを無料で配布します。

内部障害または聴覚障害の方は、一見して障害があるとわかりにくいいため、社会生活の中で本人も周りの人々も困惑する場面があります。

そのため、障害があることを周りの人に示すものとして、次のようなカードを作成しました。ご希望の方には無料で配布しますので、下記までお申し込みください。



((注1)マークは「聴覚障害者シンボルマーク」か「耳マーク」のどちらかをお選びください。)